

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城リサイクル工房	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区洞北町7-10		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区沖台二丁目4番8号 育成会会館3階		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型））の管理運営。		
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
[所見]				
【利用率】 (単位：%)				
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	109	109	109	109
実績	105.8	107.5	103.2	104.4
2※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）				
※ <input type="text"/> …対象年度（以下、同じ）				
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】（単位：円）				
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
実績	154,891	145,410	147,725	153,665
①・隣接する本城かんばん資源化センターの運転管理業務や完全処理に努めるため、利用者が作業に主体的に参加できるように、基本配置は職員で組み立て、配置の順番については自分たちで決めることができるように支援をおこなっている。				
②・見学者を幅広く受け入れており、コロナ前の水準まで戻りつつある。令和5年度は小学生等を17校：955名、企業2社、市民センター2件、海外から2件見学を受け入れている。				
③・個別支援計画に沿った支援を行いながら、複数の事業所を利用する方には、他の事業所と情報共有を行いながらニーズの把握や支援の検討・見直しを行っている				
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。				
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。				

[所見]
施設の総合評価
【満足度】

(単位：%)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	85	85	85	85
実績	82	69.5	84.1	79.4

- ①・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた利用者満足度の評価は、79.4%となっており、昨年度より低下している。特に施設内の清潔さや秘密の保持、食事のおいしさが低くなっており、改善が望まれる。
- ②・前年度のアンケートの要望や意見、利用者主催の当事者会や個別面談を通じ、利用者や家族の意見を聞き取り、サービスの向上の取り組みを行っている。要望を受け、献立の改善に努めている。
- ③・法人として苦情解決制度を設けており、苦情相談箱の設置をして、利用者および利用者家族からの苦情解決に努めている。また個別支援に係る面談を年2回（家族同席は年1回）、毎月1回個人面談を行うことで利用者間のトラブルの早期解決や意見・要望の把握に努めている。
- ④・朝礼・終礼・部会活動時に利用者に対し、分かりやすいように写真や絵を用いて視覚的に工夫している。また理解の困難な方には個別で説明を行っている。
- ⑤・「福岡県介護等体験事業」で大学生2名の実習を受け入れている。
- ⑥・利用者の部会活動を積極的に行っており、北九州市環境首都検定では、各コースで計7名の合格者を輩出し、グループ部門でも「就労継続支援賞」を受賞した。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【光熱水費】

(単位：円)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
予算	279,000	280,000	232,000	216,000
決算	210,009	211,280	190,342	190,746

①②③

- ・競争入札や見積合わせを行い、四半期ごとの経費の動向を業務分析で把握し経費の削減に努めている。また、光熱水費に関してもデータ化を行い、定期的な見直しを行っている。

<p>(2) 収入の増加</p> <p>① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>[所見]</p> <p>・提供するサービスは、障害者総合支援法に基づく法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。</p>
<p>3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み</p> <p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。</p> <p>③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p> <p>④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。</p> <p>[所見]</p> <p>①④</p> <p>・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、モニタリングの結果、施設の維持管理も適切に行われている。</p> <p>②・国家資格の取得を支援したり、研修や実践研究活動を行ったりして人材育成に取り組んでいる。</p> <p>③・環境局の主催する「クリーン北九州まち美化キャンペーン」「市民いっせいまち美化の日」に参加し、地域の清掃に取り組んでいる。また、洞海湾の「シバナ」生息地清掃活動を地域の企業と毎月行っている。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。</p> <p>② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。</p> <p>③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。</p> <p>④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p> <p>⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p> <p>⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。</p> <p>⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p> <p>[所見]</p> <p>①②</p> <p>・規範や規程を法人で制定するとともに研修を実施したり、委員会を設置したりすることで適切な運営に努めている。</p> <p>④・モニタリングの結果、収支の内容に不審なところはなく、適切に管理運営がされている。</p> <p>⑤・利用者の部会活動の中で作業研修・安全研修の計画、ヒヤリハットの対策方法の検討を行い、利用者自ら事故防止に取り組む意識の醸成に努めている。</p> <p>⑥・「安全衛生管理計画書」を作成し、労働災害ゼロ・疾病災害ゼロを目指している。</p>

- ⑦・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症対策を徹底し、また利用者の部会活動の中でも感染症予防に取り組み、衛生管理に努めている。

【総合評価】

[所見]

- ・部会活動を通して利用者の自主的な活動を支援しており、利用者の生きがいをづくりを行うことで利用者の就労意欲の向上に努めている。
- ・利用者の健康状態や高齢化による身体機能の低下を把握した上で機能強化に努めることで就労継続の定着を促している。

[今後の対応]

- ・現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施を期待する。